

## 1. 初期支援（はじめのかかわり）

メンバー

館・花野・嶋田・松原・向山・越峠・田畑

## ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	5人	2人	人	7人

## 前回の改善計画

- 今後も初回サービス担当者会議を3ヶ月後、それ以降は半年に1回必ず行う事で、多職種間で情報共有を図り、在宅生活のサポートを行っていく。
- 定期の介護職員フロア会議継続。
- 担当介護職員以外もサービス担当者会議に参加出来るような環境を作り、職員間の連携強化を図る。

## 前回の改善計画に対する取組み結果

ある程度改善計画通り行う事が出来たと思うが、コロナウイルス流行に伴い、改善計画通り行う事が出来なかった事もある為、来年度も計画継続する。

## ◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？		6	1		7
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？		7			7
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	1	6			7
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？		7			7

## できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 利用前は事前面接で作成した個人情報書を読み、職員間で情報共有を行っている。
- 事前にケアマネジャーが情報収集をし、それを職員同士が共有し、担当介護職員が中心となり適切な支援が出来ているか確認をしている。
- 月に1回フロア会議や定期的に開催するサービス担当者会議（現在コロナウイルス流行に伴い書面にて開催している）にて日々の問題点やご本人、ご家族のニーズを確認し、しっかりと支援を行っている。
- 通いの送迎時や訪問の際は、ご家族に介護を行う上で困っている事はないかなど声掛けを行い、信頼関係を築ける様に心掛けている。

## できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- コロナウイルスの影響もあり、書面でのサービス担当者会議が続いており、直接話を聞く事が出来ない。
- 利用開始前は個人情報書や申し送りノート等で情報を共有しているが、事前のミーティングまでは行えておらず、事前の情報と違う事があれば各職員が戸惑う事がある。

## 次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- 今後も初回サービス担当者会議を3ヶ月後、それ以降は半年に1回必ず行う事で、多職種間で情報共有を図り、在宅生活のサポートを行っていく。
- 定期の介護職員フロア会議継続。
- 担当介護職員以外もサービス担当者会議に参加出来るような環境を作り、職員間の連携強化を図る。
- 事前ミーティングを行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 12 月 25 日 ( 17 : 00 ~ 19 : 00 )

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 館・花野・嶋田・松原・向山・越峠・田畑

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4 人	3 人	人	7 人

前回の改善計画
再アセスメント後は、ご本人、ご家族の希望に沿った介護計画書を作成し、介護職員が閲覧出来る場所に保管しているが、日々の臨機応変な対応に追われ、介護計画書作成後は定期的に振り返り、確認する事が無い。今後は介護計画書の保管場所の再検討や、介護計画書確認シート等を作成し、介護職員全員がご利用者の介護計画書を把握し、振り返る機会を作る。
前回の改善計画に対する取組み結果
再アセスメント後は各担当が介護計画書を作成して、介護職員全員が閲覧できる場所に保管しているが、改善計画通りに各職員が定期的に振り返り、確認する事が出来ていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		7			7
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		7			7
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		6	1		7
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		6	1		7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	●サービス担当者会議開催後はご本人、ご家族の意向をもとに介護計画書を作成し、目標に向けて取り組めるようコミュニケーションをしっかりと図っている。また、日々の申し送りやフロア会議にて、定期的に目標に向けて間違った支援を行っていないか職員間で情報を共有している。 ●作成した介護計画書は、いつでも見る事が出来るよう全員分を 1 つのファイルに綴じ、閲覧可能な場所に保管している。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	●目標は分かっているも日々の業務に追われてしまい、目標に合わせた対応が出来ていない事がある。 ●自身が担当しているご利用者の目標は把握し、ある程度それにあつた対応が出来ているが、担当以外のご利用者の介護計画まで把握する事が出来ていない事が多く、なかなか実践出来ていない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	●介護計画書作成後は定期的に振り返り、確認する。 ●介護計画書の保管場所の再検討。 ●介護計画書確認シート等を作成し、介護職員全員がご利用者の介護計画書を把握し、振り返る機会を作る。 ●フロア会議で振り返る機会を作る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 12 月 25 日 ( 17 : 00 ~ 19 : 00 )

3. 日常生活の支援

メンバー 館・花野・嶋田・松原・向山・越峠・田畑

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	7 人	人	人	7 人

前回の改善計画	今後も個々の解釈で判断するのではなく、介護職員全員が情報をもとに、話し合う機会を今まで以上に多く持つ事を意識し、しっかりとご本人、ご家族のニーズを把握する事で、緊急時も臨機応変な対応が出来るよう取り組んでいく。
前回の改善計画に対する取組み結果	年々介護職員全員の意識が高くなり、個々で判断するのではなく必要時は介護主任、ケアマネジャー (ユニットリーダー) に相談し、職員間で話し合う場を設けている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?		1	6		7
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?		7			7
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		6	1		7
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?		7			7
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?		7			7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>●ご利用者の急変や、変化等があれば介護主任、ケアマネジャー (ユニットリーダー) を中心に適切な対応をする事が出来ている。</li> <li>●ご本人としっかりコミュニケーションを図り、基礎的な介護や声にならない声を言語化し、支援を行っている。</li> <li>●フロア会議や日々の申し送り、業務中の話し合いにより、職員同士で情報を共有する事でご本人、ご家族のニーズに対して臨機応変に対応する事が出来ている。</li> <li>●必要時は主治医、看護師とも連携を図る事が出来ている。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>●自宅での生活環境はある程度把握できているが、以前の暮らし方は 10 個以上把握出来ていない。</li> <li>●申し送り事項は当日出勤者のみが理解している事が多く、継続した支援が行えていない事がある。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
今後も個々の解釈で判断するのではなく、介護職員全員が情報をもとに、話し合う機会を今まで以上に多く持つ事を意識し、しっかりとご本人、ご家族のニーズを把握する事で、緊急時も臨機応変な対応が出来るよう取り組んでいく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 12 月 25 日 ( 17 : 00 ~ 19 : 00 )

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 館・花野・嶋田・松原・向山・越峠・田畑

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	7 人	人	7 人

前回の改善計画
今後も継続して7月の夏祭り(子供みこし)、12月のお餅つきには介護職員、ご利用者に参加して頂き、地域との交流を図っていく。また、サービス利用後も出来る限り住み慣れた場所で、出来るだけ生活環境が変わることなく過ごして頂けるようご家族、地域と連携強化を図っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
本年度はコロナウイルス流行に伴い、地域活動が中止となり、地域との連携を図る事が出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		7			7
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		4	3		7
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		6	1		7
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		4	2	1	7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	● 普段からしっかりコミュニケーションを図り、生活スタイルや、ご本人の取り巻く環境を把握している。 ● 訪問時などは住環境を観察し、普段のご本人がどのような生活をされているか把握している。 ● 送迎時やご家族からの聞き取りでご本人の情報を聞き、職員間で情報共有をしている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	● 利用頻度が多い方は、施設で生活される時間後多くなる為、地域との繋がりがなくなっている。 ● 今年はコロナウイルス流行に伴い、地域活動のすべてが自粛されている為、地域との交流が出来ていない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
今後も継続して7月の夏祭り(子供みこし)、12月のお餅つきには介護職員、ご利用者に参加して頂き、地域との交流を図っていく。また、サービス利用後も出来る限り住み慣れた場所で、出来るだけ生活環境が変わることなく過ごして頂けるようご家族、地域と連携強化を図っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 12 月 25 日 ( 17 : 00 ~ 19 : 00 )

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 館・花野・嶋田・松原・向山・越峠・田畑

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	6 人	人	人	7 人

前回の改善計画
ご利用者のニーズに合わせて「通い」「訪問」「宿泊」を組み合わせたサービスを行っているが、アセスメントが足りず適切なサービスが行えていない事もある為、日頃からケアマネジャー中心にご利用者について話す機会を多く作り、より適切なサービス提供を行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
ご本人、ご家族の要望に合わせて通い、訪問、宿泊を組み入れたサービスを提供し、緊急時も介護主任、ケアマネジャーを中心に臨機応変な対応も出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		3	4		7
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	3			7
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?		7			7
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?		7			7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	●ケアマネジャーがご本人やご家族の希望やニーズに合わせて通い・訪問・宿泊を組み入れたサービスを提供出来ている。 ●ご利用者の状態に変化があれば経過記録にしっかりと記入し、申し送りやフロア会議等で情報共有をしている。 ●ご本人の状態に合わせて柔軟な対応、支援を行う事が出来ている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	●コロナウイルス流行に伴い、なかなか地域の資源を上手く活用する事が出来ておらず、事業所で何とかしている場面が多い。 ●日々の関りからご本人の変化に気づき、申し送りにて情報は共有しているものの、適宜ミーティングは行う事が出来ていない為、職員間で内容の把握にバラつきがある。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	ご利用者のニーズに合わせて「通い」「訪問」「宿泊」を組み合わせたサービスを行っているが、まだまだアセスメントが足りず適切なサービスが行えていない事もある為、今後も介護主任、ケアマネジャー中心にご利用者について話す機会を多く作り、より適切なサービス提供を行っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 12 月 25 日 ( 17 : 00 ~ 19 : 00 )

6. 連携・協働

メンバー 館・花野・嶋田・松原・向山・越峠・田畑

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	1 人	4 人	2 人	7 人

前回の改善計画
●サービス担当者会議や運営推進会議、他事業所との定期的な勉強会へは決められた職員（管理者・ケアマネジャー、ユニットリーダーなど）だけが参加するのではなく、介護職員への積極的な参加を促し、多職種間の連携強化を図る。 ●地域行事である子供 7 月の夏祭り（子供みこし）、12 月のお餅つきには、今後もマルベリーのご利用者と一緒に介護職員も参加し、地域との交流を図る。 ●地域住民参加型のイベントを企画する。
前回の改善計画に対する取組み結果
コロナウイルス流行に伴い、改善計画通り行う事が出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		2	1	4	7
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？			1	6	7
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？			2	5	7
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？			1	6	7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
●コロナウイルス対策としてサービス機関とのサービス担当者会議は、書面にてしか行う事が出来ていないが、医療機関へは受診時に担当職員が話をしており、訪問看護、福祉用具事業所はケアマネジャーが直接話をする事で、連携を図っている。 ●コロナウイルス流行に伴い、サービス担当者会議は書面開催となっているが、定期的開催する事は出来る。 ●地域住民参加型の避難訓練は行う事が出来ていないが、年 2 回避難訓練を行っている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
●運営推進会議が書面開催となっている為、地域包括支援センターとの会議も開催出来ていない。 ●地域のイベントがすべて中止となっている為、参加出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
●サービス担当者会議や運営推進会議、他事業所との定期的な勉強会へは決められた職員（管理者・介護主任・ケアマネジャー）だけが参加するのではなく、介護職員への積極的な参加を促し、多職種間の連携強化を図る。 ●地域行事である子供 7 月の夏祭り（子供みこし）、12 月のお餅つきには、今後もマルベリーのご利用者と一緒に介護職員も参加し、地域との交流を図る。 ●地域住民参加型のイベントを企画する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 12 月 25 日 ( 17 : 00 ~ 19 : 00 )

7. 運営

メンバー 館・花野・嶋田・松原・向山・越峠・田畑

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	1 人	5 人	1 人	7 人

前回の改善計画
●毎月定例会議 (小規模多機能ホーム・グループホーム：管理者、主任、ユニットリーダー)、年 2 回の職員面談、実習生の受け入れ継続。 ●地域との関係性を今以上に構築し、地域に開かれた施設を目指していく為、地域に向けた普通救命講習、認知症サポーター養成講座開催。
前回の改善計画に対する取組み結果
毎月の定例会議と実習生の受け入れ (コロナウイルス流行に伴い、途中で実習終了) は行っていたが、年 2 回の職員面談は行う事が出来なかった。地域に向けた普通救命講習、認知症サポーター養成講座はコロナウイルス流行に伴い、開催する事が出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?		5	2		7
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		6	1		7
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		1	6		7
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		1	4	2	7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	●定期的なフロア会議が開催されているので、その中で職員として意見を言う事が出来る。また、管理者、主任、ユニットリーダーがそばにいつでも相談が出来る環境にある。 ●ご本人、ご家族から意見や苦情があれば管理者、ケアマネジャーを中心に適切な対応をする事が出来ている。 ●書面開催ではあるが、運営推進会議の中で地域からの意見や、苦情等あれば運営に反映している。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	●コロナウイルス流行に伴い、地域と協働した取組みが行う事が出来なかった。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	●毎月定例会議 (小規模多機能ホーム・グループホーム：管理者、主任、ユニットリーダー)、年 2 回の職員面談、実習生の受け入れ継続。 ●地域との関係性を今以上に構築し、地域に開かれた施設を目指していく為、地域に向けた普通救命講習、認知症サポーター養成講座開催。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 12 月 25 日 ( 17 : 00 ~ 19 : 00 )

8. 質を向上するための取組み

メンバー 館・花野・嶋田・松原・向山・越峠・田畑

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	6 人	1 人	人	7 人

前回の改善計画
●年間スケジュールに基づき、委員、係の定期的な会議、勉強会開催継続。 ●介護職員へ外部研修の案内を行い、今後も積極的な参加を促す。 ●ひやりはっと、事故報告書の活用。
前回の改善計画に対する取組み結果
コロナウイルス流行に伴い、規模の縮小や、書面での開催する事が多くあったが、ある程度改善計画通り行う事が出来た。事故に対してのリスクマネジメントについてもひやりはっとを多く活用する事で、未然に事故を防止できる様になっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	1	4	2		7
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1		2	4	7
③	地域連絡会に参加していますか			1	6	7
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		7			7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
●外部研修については年間のスケジュールが組まれており、参加出来やすい環境が整っている。 ●施設内勉強会はコロナウイルス流行の為、アンケート形式の開催ではあるが定期的に開催されている。 ●転倒等の事故があった際は事故報告書を作成し、発生要因、改善策を職員間で話し合い、再発防止に努めている。また、危険な事があれば、その都度ひやりはっとを記入し、事故を未然に防いでいる。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
●介護職員は地域連絡会に参加する機会がない。 ●コロナウイルス流行に伴い、外部研修の開催が中止になる事が多く、参加する機会が少なかった。 ●委員・係の定期的な会議は書面開催が多くなり、話し合う機会が少なかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
●年間スケジュールに基づき、委員、係の定期的な会議、勉強会開催継続。 ●介護職員へ外部研修の案内を行い、今後も積極的な参加を促す。 ●ひやりはっと、事故報告書の活用。	



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 12 月 25 日 ( 17 : 00 ~ 19 : 00 )

9. 人権・プライバシー

メンバー 館・花野・嶋田・松原・向山・越峠・田畑

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	6 人	1 人	人	7 人

前回の改善計画
●毎月定例会議 (小規模多機能ホーム・グループホーム : 管理者、主任、ユニットリーダー) を行い、必要時は業務改善を行う事で、介護職員のストレスを軽減する。 ●今後も接遇委員や事故・身体拘束防止委員を中心に定期的なアンケートや勉強会を実施する事で、他の介護職員が行う声掛けや態度、介助方法が悪いと感じた時に注意が出来る環境を整え、職員全体の質の向上を図る。 ●成年後見人制度についての勉強会開催。 ●定期的に行っている個人情報保護についての勉強会継続。
前回の改善計画に対する取組み結果
コロナウイルス流行に伴い、勉強会は書面での開催になる事が多かったが、改善計画通り開催する事が出来た。毎月の定例会議については書面での開催ではなく、短時間であるが感染予防に努めながら、集まって開催する事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない		7			7
②	虐待は行われていない	1	6			7
③	プライバシーが守られている	2	5			7
④	必要な方に成年後見制度を活用している		3	3	1	7
⑤	適正な個人情報の管理ができています	2	5			7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
●事故・身体拘束防止委員が虐待や身体拘束に繋がりそうな事が行われていないか、定期的にアンケートを行う事で虐待や身体拘束がない様にしている。 ●書類等は適切な場所に保管し、個人情報の管理を行っている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
●成年後見人制度を活用されている方がほとんどいない為、どのような制度か分かっていない。 ●日々の業務の忙しさやストレスケアが上手に出来ておらず、スピーチロックをしている時がある。 ●プライバシーに配慮した介護を行えていない事がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
●毎月定例会議 (小規模多機能ホーム・グループホーム : 管理者、主任、ユニットリーダー) を行い、必要時は業務改善を行う事で、介護職員のストレスを軽減する。 ●今後も接遇委員や事故・身体拘束防止委員を中心に定期的なアンケートや勉強会を実施する事で、他の介護職員が行う声掛けや態度、介助方法が悪いと感じた時に注意が出来る環境を整え、職員全体の質の向上を図る。 ●成年後見人制度についての勉強会開催。 ●定期的に行っている個人情報保護についての勉強会継続。	

外部評価 地域かかわりシート② (結果まとめ様式)

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	3		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	3		
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取り組みが行われていましたか？	1		2
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	1		2

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

- 項目が非常に多い中、真摯に取り組まれていると思います。
- 職員の皆様が課題を意識して取り組んでいらっしゃるのので、良い環境になってきていると思います。

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取り組み結果に対する意見

- コロナウイルスの流行に伴い、様々な計画が中止、延期されたのは残念です。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

- 研修等について使える他機関を活用しては？と思います。尚、当方では地域の事業、成年後見制度、高齢者虐待この3点は説明できます。
- 平常時の業務+感染対策が加わり、職員の負担が増えて心配です。改善計画は良いと思いますが、今後の状況により、臨機応変に見直すことも必要かと思いました。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

- できている点、いない点を明確に分けて取り組んでおられるので、問題ないと思います。

【改善計画】※後日記入

★昨年はコロナウイルス流行に伴い、書面での運営推進会議開催となった為、昨年の改善計画を継続する ⇒  
介護保険のサービスだけで生活を支えるのではなく、マルベリー利用後も社会資源を活用し、住み慣れた環境での生活が不安なく、安心して継続出来る様にサポートを行っていきます。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3		
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	2		1
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	2		1
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	2		1
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	2		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- この点は長らく拝見しておりませんので、意見しがたいです。

【前回の改善計画】

- 今後も接遇係、環境整備係が定期的な勉強会、アンケートを実施する事で、ご利用者、ご家族の方が不安なく安心して頂ける様な環境を整えています。
- 感染予防については、季節に応じた感染予防啓発ポスターの掲示、各フロアへの申し送りを徹底します。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- いつも清潔で、季節のかざり等も取り入れて、安心感があります。

【今回の改善計画】※後日記入

- 今後も接遇係、環境整備係が定期的な勉強会、アンケートを実施する事で、ご利用者、ご家族の方が不安なく安心して頂ける様な環境を整えています。
- 感染予防については、季節に応じた感染予防啓発ポスターの掲示、各フロアへの申し送りを徹底します。
- コロナウイルス感染症対策徹底。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3		
1	職員はあいさつできていますか？	3		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	3		
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	2		1
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	1		2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- 次のページに書きました。何を通じて地域と関わるかの振り返りがあっても良いかと思えます。

【前回の改善計画】

毎年目標として認知症サポーター養成講座、普通救命講習を実施すると掲げていますが、実現する事が出来ていませんので、まずは地域の方と話し合う機会を設け、中長期の目標として進めていきます。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- 感染症対策に配慮しつつ、地域の方や利用者家族と話し合う機会を設けてほしいです。

【改善計画】※後日記入

★昨年はコロナウイルス流行に伴い、書面での運営推進会議開催となった為、昨年の改善計画を継続する ⇒  
毎年目標として認知症サポーター養成講座、普通救命講習を実施すると掲げていますが、実現する事が出来ていませんので、まずは地域の方と話し合う機会を設け、中長期の目標として進めていきます。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3		
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	3		
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	3		
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	1		2
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	1		2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- 基本的に外を意識した運営が行われていると思います。コロナが続く中、支え方が変わる為、地域と作るネットワークの目的が変わると思います。

【前回の改善計画】

運営推進会議では、施設側の報告に時間を使っている事が多いので、地域の問題などを話し合う時間を設ける事で、地域の課題を見つけ出し、地域の方と一緒に課題を克服していきます。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

- 単身、判断が低下、軽度等、今後リスクが増えてくケースについて、地域支援者とサービス事業者（CM）の連絡体制を地域ケア会議で作っていく事も必要かと思っています。
- コロナウイルス流行に伴い、外部や地域の行事に参加する事が難しくなり、リスクと安全性のバランスを取る事がこれからの課題だと感じました。

【改善計画】※後日記入

★昨年はコロナウイルス流行に伴い、書面での運営推進会議開催となった為、昨年の改善計画を継続する ⇒  
 運営推進会議では、施設側の報告に時間を使っている事が多いので、地域の問題などを話し合う時間を設ける事で、地域の課題を見つけ出し、地域の方と一緒に課題を克服していきます。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3		
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	3		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	2	1	
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	3		
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	2		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

【前回の改善計画】

運営推進会議の参加者は、地域代表として町会長と民生委員、施設側の参加者として管理者、主任、ユニットリーダーが参加する事がほとんどなので、本年度開催する運営推進会議は、町会長と民生委員以外の地域住民の方の参加も促し、施設側の参加者としても、出来る限り毎回違う介護職員に参加してもらい、地域の方と交流を図る機会を多く設けます。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

●会議を推進する為に中心となるメンバーと、様々な意見の交流を図る為、毎回違う人を参加してもらうのは良いことだと思います。

【改善計画】※後日記入

★昨年はコロナウイルス流行に伴い、書面での運営推進会議開催となった為、今年の改善計画を継続する ⇒

運営推進会議の参加者は、地域代表として町会長と民生委員、施設側の参加者として管理者、主任、ユニットリーダーが参加する事がほとんどなので、本年度開催する運営推進会議は、町会長と民生委員以外の地域住民の方の参加も促し、施設側の参加者としても、出来る限り毎回違う介護職員に参加してもらい、地域の方と交流を図る機会を多く設けます。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3		
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	2		1
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	1		2
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	2	1	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	2		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- 桑津では防災用備品も徐々に購入する事も検討中です。事業所ともいづれ共有出来ればと思います。
- コロナウイルス流行に伴い、地域の防災訓練に参加するのが難しい。いざという時の対応にどのように取り組むか、課題として備える必要があると思います。

【前回の改善計画】

- 火災を想定した訓練だけでなく、様々な災害に備えたミニ防災訓練（毎月）を実施する。
- 年2回の定期防災避難訓練では、実際に大災害が起こった場合、介護職員はどのような行動すべきかを訓練の中で実体験してもらい、様々な大災害に備えていく。
- 備蓄食の確保継続。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

【改善計画】※後日記入

- ★昨年はコロナウイルス流行に伴い、書面での運営推進会議開催となった為、今年の改善計画を継続する ⇒
- 火災を想定した訓練だけでなく、様々な災害に備えたミニ防災訓練（毎月）を実施する。
  - 年2回の定期防災避難訓練では、実際に大災害が起こった場合、介護職員はどのような行動すべきかを訓練の中で実体験してもらい、様々な大災害に備えていく。
  - 備蓄食の確保継続。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人 淀井病院	代表者	淀井 省三	法人・事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>●開設以来、年々地域との繋がりも強化出来ており、年間地域行事である、子どもみこし、お餅つきへ毎年参加し、地域のふれあい喫茶へも毎月2回の開催日は必ず参加している。また定期的にふれあい喫茶を開催している地域の婦人部の方が、マルベリーにて出張ふれあい喫茶を開催してくれている。家族会も年1回継続して行っており、職員が間に入り家族同士の交流も図れている。</li> <li>●医療面に関しても医療法人である強みを生かし、ご利用者、ご家族が安心して在宅生活が過ごせるよう医療職との連携を図っている。</li> <li>●年2回行われる避難訓練では、ご利用者、ご家族、地域住民参加型の訓練を行う事で、職員の災害に対する意識向上が図れている。</li> </ul>
事業所名	小規模多機能ホーム マルベリー	管理者	富嶋 博之		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	2人	2人	2人	1人	人	3人	2人	12人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	介護保険のサービスだけで生活を支えるのではなく、マルベリー利用後も社会資源を活用し、住み慣れた環境での生活が不安なく、安心して継続出来る様にサポートを行っていきます。	本年度はコロナウイルス流行に伴い、様々なサービスが制限される中、ご利用者・ご家族が少しでも不安なく在宅生活が継続出来るよう職員一丸となって取り組む事が出来ました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●項目が非常に多い中、真摯に取り組まれていると思います。</li> <li>●職員の皆様が課題を意識して取り組んでいらっしゃるの、良い環境になってきていると思います。</li> <li>●コロナウイルスの流行に伴い、様々な計画が中止、延期されたのは残念です。</li> <li>●研修等について使える他機関を活用しては？と思います。尚、当方では地域の事業、成年後見制度、高齢者虐待この3点は説明できます。</li> <li>●平常時の業務+感染対策が加わり、職員の負担が増えて心配です。改善計画は良いと思いますが、今後の状況により、臨機応変に見直すことも必要かと思いました。</li> <li>●できている点、いない点を明確に分けて取り組んでおられるので、問題ないと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★昨年はコロナウイルス流行に伴い、書面での運営推進会議開催となった為、昨年の改善計画を継続する ⇒ 介護保険のサービスだけで生活を支えるのではなく、マルベリー利用後も社会資源を活用し、住み慣れた環境での生活が不安なく、安心して継続出来る様にサポートを行っていきます。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>●今後も接遇係、環境整備係が定期的な勉強会、アンケートを実施する事で、ご利用者、ご家族の方が不安なく安心して頂ける様な環境を整えています。</li> <li>●感染予防については、季節に応じた感染予防啓発ポスターの掲示、各フロアへの申し送りを徹底します。</li> </ul>	環境面に関しては、通常の感染対策（インフルエンザ・ノロウイルス等）に加え、コロナウイルス感染症対策を徹底する事で、マルベリーご利用者・介護職員の感染者は0で経過しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●この点は長らく拝見しておりませんので、意見しがたいです。</li> <li>●いつも清潔で、季節のこだわり等も取り入れて、安心感があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●今後も接遇係、環境整備係が定期的な勉強会、アンケートを実施する事で、ご利用者、ご家族の方が不安なく安心して頂ける様な環境を整えています。</li> <li>●感染予防については、季節に応じた感染予防啓発ポスターの掲示、各フロアへの申し送りを徹底します。</li> <li>●コロナウイルス感染症対策徹底。</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	毎年目標として認知症サポーター養成講座、普通救命講習を実施すると掲げていますが、実現する事が出来ていませんので、まずは地域の方と話し合う機会を設け、中長期の目標として進めていきます。	コロナウイルス流行に伴い、地域活動が制限されていた為、改善計画通り取り組む事が出来ませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●次のページに書きました。何を通じて地域と関わるかの振り返りがあっても良いかと思います。</li> <li>●感染症対策に配慮しつつ、地域の方や利用者家族と話し合う機会を設けてほしいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★昨年はコロナウイルス流行に伴い、書面での運営推進会議開催となった為、昨年の改善計画を継続する ⇒ 毎年目標として認知症サポーター養成講座、普通救命講習を実施すると掲げていますが、実現する事が出来ていませんので、まずは地域の方と話し合う機会を設け、中</li> </ul>



				長期の目標として進めていきます。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	運営推進会議では、施設側の報告に時間を使っている事が多いので、地域の問題などを話し合う時間を設ける事で、地域の課題を見つけ出し、地域の方と一緒に課題を克服していきます。	コロナウイルス流行に伴い、書面での運営推進会議開催となった為、改善計画通り取り組む事が出来ませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基本的には外を意識した運営を行われていると思います。コロナが続く中、支え方が変わる為、地域と作るネットワークの目的が変わると思います。</li> <li>●単身、判断が低下、軽度等、今後リスクが増えてくケースについて、地域支援者とサービス事業者（CM）の連絡体制を地域ケア会議で作っていく事も必要かと思っています。</li> <li>●コロナウイルス流行に伴い、外部や地域の行事に参加する事が難しくなり、リスクと安全性のバランスを取る事がこれからの課題だと感じました。</li> </ul>	<p>★昨年はコロナウイルス流行に伴い、書面での運営推進会議開催となった為、昨年の改善計画を継続する ⇒</p> <p>運営推進会議では、施設側の報告に時間を使っている事が多いので、地域の問題などを話し合う時間を設ける事で、地域の課題を見つけ出し、地域の方と一緒に課題を克服していきます。</p>
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議の参加者は、地域代表として町会長と民生委員、施設側の参加者として管理者、主任、ユニットリーダーが参加する事がほとんどなので、本年度開催する運営推進会議は、町会長と民生委員以外の地域住民の方の参加も促し、施設側の参加者としても、出来る限り毎回違う介護職員に参加してもらい、地域の方と交流を図る機会を多く設けます。	コロナウイルス流行に伴い、書面での運営推進会議開催となった為、改善計画通り取り組む事が出来ませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●会議を推進する為に中心となるメンバーと、様々な意見の交流を図る為、毎回違う人を参加してもらうのは良いことだと思います。</li> </ul>	<p>★昨年はコロナウイルス流行に伴い、書面での運営推進会議開催となった為、昨年の改善計画を継続する ⇒</p> <p>運営推進会議の参加者は、地域代表として町会長と民生委員、施設側の参加者として管理者、主任、ユニットリーダーが参加する事がほとんどなので、本年度開催する運営推進会議は、町会長と民生委員以外の地域住民の方の参加も促し、施設側の参加者としても、出来る限り毎回違う介護職員に参加してもらい、地域の方と交流を図る機会を多く設けます。</p>
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>●火災を想定した訓練だけでなく、様々な災害に備えたミニ防災訓練（毎月）を実施する。</li> <li>●年 2 回の定期防災避難訓練では、実際に大災害が起こった場合、介護職員はどのような行動すべきかを訓練の中で実体験してもらい、様々な大災害に備えていく。</li> <li>●備蓄食の確保継続。</li> </ul>	コロナウイルス流行に伴い、ご家族・地域住民参加型の定期防災避難訓練は行う事が出来ませんでしたが、ご利用者、介護職員が参加した定期防災避難訓練は予定通り年 2 回開催する事が出来ました。ミニ防災訓練についても予定通り行う事が出来、備蓄食についても継続して人数分確保出来ています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●桑津では防災用備品も徐々に購入する事も検討中です。事業所ともいづれ共有出来ればと思います。</li> <li>●コロナウイルス流行に伴い、地域の防災訓練に参加するのが難しい。いざという時の対応にどのように取り組むか、課題として備える必要があると思います。</li> </ul>	<p>★昨年はコロナウイルス流行に伴い、書面での運営推進会議開催となった為、昨年の改善計画を継続する ⇒</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●火災を想定した訓練だけでなく、様々な災害に備えたミニ防災訓練（毎月）を実施する。</li> <li>●年 2 回の定期防災避難訓練では、実際に大災害が起こった場合、介護職員はどのような行動すべきかを訓練の中で実体験してもらい、様々な大災害に備えていく。</li> <li>●備蓄食の確保継続。</li> </ul>

